

目次

口 絵

序

凡 例

細目次

第一章 日露戦後経営の展開と政党政治の新潮流……………三

第一節 日露戦後経営の方針……………三

一 日露戦後経営の方針……………三

二 日露戦後の税徴収体制……………七

第二節 町村合併と地方改良運動……………三〇

一 一九〇六年の町村大合併……………三〇

二 地方改良運動と地域振興の構想……………六七

三	郡制度をめぐって	八三
第三節	地域基盤の整備と都市の発展	九六
一	地域基盤・産業基盤の整備	九六
二	日露戦後の都市の発達と都市行政	一〇六
第四節	日露戦後の軍事と植民地への対応	一五〇
一	戦捷記念事業と日露戦後の軍事	一五〇
二	軍事と地域社会	一六二
三	植民地と愛知県	一七六
第五節	「明治」から「大正」へ	一八四
一	明治天皇の死去と大喪	一八四
二	悠紀齋田点定問題と大正天皇即位礼	一九二
第六節	日露戦後から大正政変期の政党	二〇八
一	政友会の内紛と非政友勢力の形成	二〇八
二	大正政変と愛知政界	二二五

第二章	第一次世界大戦下の愛知県の発展と矛盾	二六三
第一節	第一次世界大戦下の県行政と町村行政	二六三
一	第一次世界大戦への対応	二六三
二	第一次世界大戦下の地方自治	二八四
第二節	地方都市の発展と矛盾	三〇七
一	名古屋市電車焼き討ち事件への対応	三〇七
二	岡崎の市制施行と「名古屋」の構想	三二九
第三節	米価騰貴問題・米騒動と治安維持	三六一
一	愛知県の対応	三六一
二	都市部の対応	三六五
三	郡部・農村部の対応	三七四
第四節	第一次大戦期の政党	三八一
一	国政選挙における二大政党化の進展	三八一
二	県会における非政友派の優位と内部対立	四〇三

第三章 「大愛知」の成立と展開	四二三
第一節 第一次世界大戦戦後経営と工業化・都市化の進展	四二三
一 民力涵養運動と戦後経営	四二三
第二節 第一次世界大戦後における都市の発達	四六五
一 各市の発展と都市計画の実施	四六五
二 都市環境の整備と社会政策	四八五
第三節 第一次世界大戦後の町村行政と地域振興	四九九
一 第一次世界大戦後の町村行政	四九九
二 農村振興と農民党の構想	五三三
三 郡制・郡役所廃止問題	五四三
第四節 大国主義と思想的統合	五五八
一 国体論的価値意識の諸相	五五八
二 五大強国の基盤形成	五七九
第五節 第一次大戦後から第二次護憲運動期の政党	六一三
一 第一次大戦後における政友会の優勢と内部対立	六一三

二	第二次護憲運動期の愛知政界	六三四
三	政友本党の内部対立と県会	六四八
第六節	第一次大戦後の地域と軍事	六五七
一	渥美郡高師原演習場問題	六五七
二	第十五師団廃止問題と第十八連隊移転問題	六六二
第七節	「昭和」への改元	六六七
第四章	体制的危機下の愛知県	六七九
第一節	金融恐慌下の県政	六七九
一	経済的危機と県臨時財政調査会	六七九
二	緊縮財政下の市町村行政	六九八
三	合併問題と各地の市制・町制施行	七〇八
四	名古屋博覧会と都市機能の拡大	七一五
五	ハンセン病への対応	七二三
第二節	昭和初期の政党政治と県会	七二七

一 昭和初期の愛知県の政情	七二七
二 二大政党と無産政党	七三一
三 「普通選挙」の実施をめぐる	七五一
四 民政党への批判と動揺	七三七
第三節 思想問題への対応と教化総動員運動	七八三
一 昭和天皇即位行事	七八三
二 思想問題への対応	八〇八
三 教化総動員運動の展開	八一三
第四節 昭和恐慌の発生と恐慌への対応	八二八
一 緊縮財政と公私経済緊縮運動	八二八
二 不況対策・失業対策の推進	八四四
第五節 十五年戦争の前提	八五〇
一 昭和二年陸軍特別大演習	八五〇
二 第三師団の山東出兵と防空大演習	八五八
解説	八七七

頻出語句・用語一覧

あとがき

資料提供者及び協力者

愛知県史編さん関係者名簿

細目次

第一章 日露戦後経営の展開と政党政治の新潮流

第一節 日露戦後経営の方針

一 日露戦後経営の方針

1	日露戦後経営についての知事訓示 一九〇六年(明治三十九)八月十六日……………	3
2	時運の進展と行政事務刷新についての知事訓令 一九一二年(明治四十五)三月十三日……………	6
二 日露戦後の税徴収体制		
3	明治四十年年度県税賦課規則 一九〇七年(明治四十)二月六日……………	7
4	豊橋市特別市税条例 一九〇八年(明治四十)三月二十三日……………	24
5	悪税中の悪税 一九〇八年(明治四十)三月三十一日……………	25
6	名古屋市内特別税についての県会での質疑 一九一四年(大正三)十二月七日……………	28
第二節 町村合併と地方改良運動		
一 一九〇六年の町村大合併		
7	渥美郡旧中山村の分離独立についての請願 一九〇七年(明治四十)八月八日……………	30

8 基本財産造成条例の制定についての渥美郡長通牒
一九〇八年(明治四十)三月二十日……………

9 町村合併後の成績
一九一四年(大正三)六月……………

二 地方改良運動と地域振興の構想

10	東加茂郡町村必施事項調査方法 一九〇八年(明治四十)……………	67
11	戊申詔書の趣意普及についての額田郡通達 一九〇九年(明治四十二)三月四日……………	70
12	部落有財産の統一についての額田郡通牒 一九〇九年(明治四十二)十一月十二日……………	71
13	基本財産積戻についての知事訓令 一九一〇年(明治四十)十月十九日……………	72
14	町村の自治及び町村の事業成立の型式(山崎延吉) 一九〇六年(明治三十九)十月……………	72
15	富田高慶翁と西郷南洲翁(古橋源六郎) 一九〇八年(明治四十)五月……………	75
16	三遠農学社東三支社事歴 一九〇五年(明治三十八)六月二十六日……………	77
17	渥美郡野田村の模範村表彰 一九一〇年(明治四十)二月二十五日……………	79
18	渥美郡野田村村治の向上についての立誓書 一九一〇年(明治四十)五月三日……………	79
19	渥美郡野田村村是計画書 一九一一年(明治四十四)六月……………	80
三 郡制度をめぐって		
20	宝飯郡役所移転請願書 一九一二年(明治四十五)二月九日……………	83

21	碧海郡役所移転についての郡長内申 一九一三年(大正二)四月二十一日	84
22	碧海郡役所移転反对請願書 一九一三年(大正二)五月十六日	85
23	碧海郡役所移転反对請願についての郡長上申 一九一三年(大正二)五月二十一日	86
24	碧海郡役所移転許可後の状況報告 一九一三年(大正二)十二月二十三日	86
25	碧海郡役所移転不要の理由 一九一三年(大正二)	88
26	知事の諮問に対する八名郡長の郡制廃止答申書 一九一三年(大正二)八月十六日	90
27	知事の諮問に対する海部郡長の郡制廃止意見 一九一三年(大正二)八月二十日	93
第三節 地域基盤の整備と都市の発展		
一 地域基盤・産業基盤の整備		
28	愛知県商品陳列館規則 一九一〇年(明治四三)八月三十一日	96
29	中央線の全通 一九一一年(明治四四)五月一日	98
30	土木費支弁規則 一九一二年(明治四五)四月十日	100
31	名古屋港拡張並修築改築工事現況概要 一九一三年(大正二)十月三十一日	103
32	二 日露戦後の都市の発達と都市行政 町村併合と熱田町 一九〇六年(明治三十九) 一九〇七年(明治四十)	106

33	熱田町の合併記念式 一九〇七年(明治四十)五月二十一日	114
34	第十回関西府県連合共進会の開催 一九一〇年(明治四三)三月十日	115
35	戸口調査規則改正についての警務長訓授 一九〇五年(明治三十八)九月四日	129
36	トラホーム予防についての知事諭告 一九〇六年(明治三十九)十一月七日	133
37	屠場法施行細則 一九〇六年(明治三十九)十一月七日	135
38	ハンセン病の予防及び療養費についての県会での質疑 一九〇七年(明治四十)十一月二十六日	137
39	ハンセン病患者の救護費の取扱について 一九〇九年(明治四十二)十月三十日	139
40	ハンセン病の予防及び療養費についての県会での質疑 一九一一年(明治四十四)十一月二十日	141
41	名古屋市の屎尿処分についての県令 一九一二年(明治四十五)二月七日	143
42	豊橋市立火葬場管理規程 一九一二年(明治四十五)二月二十七日	149
第四節 日露戦後の軍事と植民地への対応		
一 戦捷記念事業と日露戦後の軍事		
43	県下の戦時記念造林計画 一九〇五年(明治三十八)十月六日	150
44	帰還軍隊歓迎についての県の方針 一九〇五年(明治三十八)十月二十五日	151
45	帰還軍人の社会復帰についての碧海郡長の指示 一九〇五年(明治三十八)十一月六日	152

46	招魂祭執行についての第三師団の意向 一九〇五年(明治三十八)十二月十一日……………	153
47	第三師団凱旋大慰勞会の弁明 一九〇六年(明治三十九)二月八日……………	154
48	臨時大招魂祭 一九〇六年(明治三十九)三月十日……………	155
49	在郷軍人に対する豊橋連隊区司令官諭告 一九〇六年(明治三十九)八月二日……………	157
50	特命検閲使への申告事項取調書 一九一〇年(明治四十三)五月二十日……………	158
51	官吏による在郷軍人会設立援助についての八名郡通牒 一九一〇年(明治四十三)十月十日……………	161
52	二 軍事と地域社会 渥美郡伊良湖岬村移転記念碑の建立 一九〇六年(明治三十九)十二月……………	162
53	渥美郡中山漁業組合の歎願書への対応 一九〇七年(明治四十) 一九〇八年(明治四十一)……………	162
54	渥美郡福江町長の大砲射撃猶予願 一九〇九年(明治四十二)三月十一日……………	165
55	漁業権取消に対する補償について知事の照会 一九一三年(大正二)十月三十日……………	166
56	魔弾類盗難事件について軍と裁判所の往復書類 一九〇九年(明治四十二)七月……………	167
57	第十五師団新設敷地買収についての渥美郡高師村歎願書 一九〇七年(明治四十)五月……………	168
58	新設第十五師団敷地について渥美郡牟呂村民への説諭 一九〇七年(明治四十)八月二十三日……………	169
59	第十五師団献地問題 一九〇八年(明治四十)七月二十四日……………	170
60	新設第十五師団と地域 一九〇七年(明治四十) 一九一一年(明治四十四)……………	172
	三 植民地と愛知県	
61	韓国統監府巡查辞令授与における県第四部長訓辞 一九〇六年(明治三十九)六月二十九日……………	176
62	韓国皇太子来訪についての名古屋市の対応 一九〇七年(明治四十)十二月……………	178
63	東洋拓殖会社の朝鮮農業従事希望者についての八名郡通牒 一九〇九年(明治四十二)四月十九日……………	179
64	韓国併合についての額田郡内牒 一九一〇年(明治四十三)八月二十九日……………	179
65	韓国併合についての豊橋市会意見書 一九一〇年(明治四十三)九月二日……………	180
66	韓国併合祝賀についての額田郡宮崎村通知 一九一〇年(明治四十三)九月三日……………	180
67	台湾先住民「討伐」従事者への慰問及び救護 一九一四年(大正三)六月 八月……………	181
68	行旅病人身柄引取についての台南庁よりの照会 一九一六年(大正五)十一月十三日……………	183
	第五節 「明治」から「大正」へ	
	一 明治天皇の死去と大喪	
69	天皇違例と見舞品献上についての額田郡通牒 一九一二年(明治四十五)七月二十七日……………	184
70	天皇死去についての額田郡通牒 一九一二年(明治四十五)七月三十日……………	185
71	大正への改元についての額田郡通知 一九一二年(大正元)七月三十一日……………	185

72	天皇死去の報に接した名古屋市内の様子 一九二二年(大正元)七月三十一日	186
73	天皇死去と県下各地の対応 一九二二年(大正元)八月四日	188
74	大喪中の心得についての額田郡形埜村通知 一九二二年(大正元)八月八日	189
75	大喪における児童心得についての東加茂郡長訓令 一九二二年(大正元)八月九日	189
76	大喪当日の上京についての額田郡通牒 一九二二年(大正元)八月二十九日	190
77	喪章着用についての額田郡形埜村通牒 一九二二年(大正元)八月三十一日	190
78	遥拝式の挙行についての額田郡通牒 一九二二年(大正元)九月三日	191
79	二 悠紀齋田点定問題と大正天皇即位礼 県下より齋田採用内定 一九一四年(大正三)二月六日	192
80	碧海郡六ツ美村からの御料悠紀田選定願 一九一四年(大正三)二月十一日	193
81	知事の齋田候補地視察 一九一四年(大正三)三月四日	194
82	齋田の三候補地についての知事の談 一九一四年(大正三)三月四日	194
83	悠紀齋田の所在決定についての県告示 一九一四年(大正三)三月六日	195
84	悠紀齋田勅定についての県民一同心得方知事諭告 一九一四年(大正三)三月十二日	196
85	齋田点定と県民の覚悟(愛知県内務部) 一九一五年(大正四)九月	196

86	六ツ美の村民各位に告ぐ 一九一九年(大正八)十一月三日	198
87	大札奉祝が華美に失せざることを求める北設楽郡通牒 一九一三年(大正二)八月二十日	199
88	大札記念造林標柱建設補助規程 一九一五年(大正四)七月七日	199
89	御大典奉祝についての海部郡八開村の取り組み 一九一五年(大正四)十月二十八日	200
90	一般心得及び拝観者心得についての知事諭告 一九一五年(大正四)十月三十日	202
91	饗饌場の位置についての県告示 一九一五年(大正四)十一月三日	203
92	名古屋離宮伺候者の資格についての額田郡通牒 一九一五年(大正四)十一月三日	203
93	養老の典についての額田郡長内訓 一九一五年(大正四)十一月八日	204
94	大嘗祭当日の名古屋市内 一九一五年(大正四)十一月十五日	205
95	愛知県と御大典との関係(松井 茂) 一九一五年(大正四)十二月	206
第六節 日露戦後から大正政変期の政党		
一 政友会の内紛と非政友勢力の形成		
96	熱田街道改修をめぐる県会の動向 一九〇五年(明治三十八)十二月	208
97	道路改修案否決の内情 一九〇五年(明治三十八)十二月二日	210
98	共進会費否決に就て(横井甚四郎) 一九〇七年(明治四十)十一月一日	211

99	否決派議員の反省を促す(愛知県会議員 安東敏之)	214
100	一 九〇七年(明治四十)十一月十日 共進会復活問題と政友会の態度	215
101	一 九〇七年(明治四十)十二月十七日 非政友派に告ぐ	216
102	一 九〇八年(明治四十一)五月七日 民声倶楽部の発会	218
103	一 九〇九年(明治四十二)一月 政友会大井憲太郎の敗北	221
104	一 九〇九年(明治四十二)九月九日 名古屋電気鉄道株式会社功労株についての知事の報告	223
	一 九一一年(明治四十四)八月十六日	
	二 大正政変と愛知政界	
105	閥族と国民の決戦(衆議院議員 森田小六郎)	225
106	一 九一二年(大正元)十一月 政友会による憲政擁護県民大会	229
107	一 九一二年(大正元)十二月十八日 桂内閣成立後に於て吾人の執るべき態度(小山松寿)	231
108	一 九一二年(大正元)十二月二十二日 東海十一州同志大会と憲政擁護政談大演説会	233
109	一 九一三年(大正二)一月二十七日 閥族党と名古屋	236
110	一 九一三年(大正二)二月一日 桂新党と愛知県	238
111	一 九一三年(大正二)二月一日 非政友連合についての鈴置代議士の談	239
112	一 九一三年(大正二)二月一日 民声倶楽部と新党の結成	240

113	政界側面観	241
114	一 九一三年(大正二)二月一日 桂新党と名古屋市実業家	242
115	一 九一三年(大正二)二月七日 早川竜介の政友会脱党理由書	243
116	一 九一三年(大正二)二月 新党支部準備の進展	244
117	一 九一三年(大正二)二月十六日 政友会県支部の動揺	244
118	一 九一三年(大正二)二月二十三日 県下政党の消長	245
119	一 九一三年(大正二)二月二十五日 愛知政友の態度	245
120	一 九一三年(大正二)二月二十五日 憲政擁護運動以降の政友会県支部の状況	248
121	一 九一三年(大正二)二月二十八日 鈴置倉次郎の小山松寿宛書簡	249
122	一 九一三年(大正二)三月七日 立憲同志会県支部設置運動	250
123	一 九一三年(大正二)四月六日 立憲同志会県支部設立の見通し	250
124	一 九一三年(大正二)八月十八日 桂公薨去と大疑獄の影響	250
125	一 九一三年(大正二)十月十三日 故桂公と名古屋(蔵生)	251
126	一 九一三年(大正二)十月十五日 三角同盟にかかわる大疑獄の判決	253
127	一 九一三年(大正二)十二月二十七日 立憲同志会支部の設立延期	255
	一 九一四年(大正三)二月二十日	

128	遊廓移転地事件公判速記 一九一四年(大正三)一月二十八日……………	256
第二章 第一次世界大戦下の愛知県の発展と矛盾		
第一節 第一次世界大戦下の県行政と町村行政		
一 第一次世界大戦への対応		
129	戦時下の県民の態度についての知事訓示要領 一九一七年(大正六)六月二十六日……………	263
130	官紀振肅についての知事訓示要領 一九一七年(大正六)六月二十八日……………	269
131	対敵取引についての県通牒 一九一八年(大正七)四月二十六日……………	275
132	粗製品の輸出予防についての県通牒 一九一八年(大正七)五月二十八日……………	276
133	中央報徳会主催戦後準備講演会 一九一七年(大正六)七月……………	276
134	第一次世界大戦戦後経営の方針についての知事諭告 一九一八年(大正七)三月五日……………	282
135	消費の節約により戦後の国力充実を求める知事訓令 一九一八年(大正七)十二月六日……………	283
二 第一次世界大戦下の地方自治		
136	中島郡町村長会における郡長注意事項 一九一四年(大正三)八月十日……………	284
137	愛知県自治会の発足 一九一六年(大正五) 一九一八年(大正七)……………	289

138	西加茂郡高橋村の自治発展策 一九一七年(大正六)……………	292
139	市町村義務教育費国庫負担法制定についての知事訓令 一九一八年(大正七)四月二十七日……………	297
140	市町村義務教育費国庫負担金交付についての規程 一九一八年(大正七)四月二十七日……………	298
141	三川改修案否決 一九一六年(大正五)一月二十三日……………	300
142	五大川改良計画内容 一九一六年(大正五)十月十九日……………	304
第二節 地方都市の発展と矛盾		
一 名古屋市電車焼き討ち事件への対応		
143	騒擾中の名古屋市の対応 一九一四年(大正三)九月七日……………	307
144	騒擾初日についての被害状況調査復命書 一九一四年(大正三)九月七日……………	308
145	騒擾中の名古屋市の対応 一九一四年(大正三)九月八日……………	310
146	騒擾に対する松井知事の意見 一九一四年(大正三)九月八日……………	311
147	騒擾中の名古屋市の対応 一九一四年(大正三)九月九日……………	312
148	騒擾鎮庄の負傷警察官に対する名古屋市長の慰問状 一九一四年(大正三)九月十日……………	313
149	騒擾鎮庄についての名古屋市長の第三師団長宛礼状 一九一四年(大正三)九月十日……………	314
150	電車運賃引き下げの知事命令 一九一四年(大正三)九月十三日……………	314

151	電車賃問題についての知事の仲裁案	315
152	事件後の警察力増強案についての県会での質疑	316
	一九一四年(大正三)十一月二十四日	
	一九一四年(大正三)十一月二十四日	
	二 岡崎の市制施行と「大名古屋」の構想	
153	岡崎の市制運動	329
	一九一三年(大正二)十一月二十二日	
154	岡崎市制問題	330
	一九一四年(大正三)三月十三日	
155	岡崎町市制施行についての知事訓示要旨	330
	一九一六年(大正五)六月七日	
156	豊橋と岡崎(前豊橋市長 大口喜六)	336
	一九一六年(大正五)九月	
157	大名古屋論(小林橘川)	341
	一九一六年(大正五)九月	
158	大名古屋建設の前提(名古屋高工校長工学博士 武田五一)	346
	一九一九年(大正八)二月六日	
159	住宅市営と市区改正調査委員(小林橘川)	347
	一九一九年(大正八)五月二十三日	
160	名古屋市の公設市場	350
	一九一九年(大正八)四月	
161	県内のハンセン病患者数と県の対応	353
	一九一九年(大正八)十二月二十二日	
162	ペスト予防のための船舶検疫施行についての県告示	353
	一九一六年(大正五)十月十二日	
163	ペスト予防のための消毒施行についての県令	354
	一九一七年(大正六)六月六日	
164	ペスト防疫についての県会での質疑	354
	一九一六年(大正五)十二月十四日	

165	ペスト予防のための捕鼠及び斃鼠買い上げ	359
	一九一七年(大正六)四月二十日	
166	ペスト予防のための買鼠抽籤の懸賞	360
	一九一七年(大正六)八月六日	
167	倉庫納屋防鼠設備規則	360
	一九一七年(大正六)八月二十四日	
	第三節 米価騰貴問題・米騒動と治安維持	
	一 愛知県の対応	
168	物価の常準の持続についての知事諭告	362
	一九一八年(大正七)四月二十三日	
169	米穀の円滑な販売供給についての知事諭告	362
	一九一八年(大正七)八月十三日	
170	米価暴騰にともなう内帑金の下賜	363
	一九一八年(大正七)八月	
171	騒擾への適切な対処と民心安定についての知事訓令	364
	一九一八年(大正七)八月二十四日	
	二 都市部の対応	
172	豊橋市窮民救助規則	365
	一九一七年(大正六)七月十三日	
173	内帑金下賜についての豊橋市長告諭	366
	一九一八年(大正七)九月七日	
174	西貢米の分配についての名古屋市長諭告	366
	一九一八年(大正七)八月十一日	
175	米価暴騰への対応について町総代宛協力依頼	367
	一九一八年(大正七)八月十三日	
176	名古屋市の困窮者救済方法案	367
	一九一八年(大正七)八月十三日	

177	市民の騷擾軽拳についての名古屋市長諭告 一九一八年(大正七)八月十三日……………	368
178	騷擾鎮撫についての県通牒 一九一八年(大正七)八月十九日……………	369
179	名古屋市の白米廉売の経過概要 一九一八年(大正七)十二月……………	369
180	出征軍人家族への台湾米贈与についての名古屋市尚武会通知 一九一八年(大正七)九月三日……………	371
181	白米廉売所運営に協力の在郷軍人会慰勞についての西区長内申 一九一八年(大正七)十月十六日……………	372
182	天長節の施米についての困窮者調査結果の報告 一九一八年(大正七)十月二十一日……………	373
三 郡部・農村部の対応		
183	暴利取締令についての額田郡通牒 一九一八年(大正七)八月十二日……………	374
184	内地米廉売についての碧海郡上郷村通知 一九一八年(大正七)八月十七日……………	375
185	米廉売と公民権の関係についての海部郡長より照会 一九一八年(大正七)八月二十一日……………	375
186	下賜金処分の方法についての海部郡長より照会 一九一八年(大正七)九月十六日……………	376
187	廉売廃止についての碧海郡上郷村の通知 一九一八年(大正七)十月五日……………	377
188	米価暴騰による渥美郡田原町困窮者救助寄附金 一九一八年(大正七)八月十九日……………	377
189	渥美郡田原町窮民救助規定 一九一八年(大正七)八月二十一日……………	378
190	困窮者調査についての渥美郡田原町長の依頼並びに回答 一九一八年(大正七)八月二十七日……………	379

第四節 第一次大戦期の政党

一 国政選挙における二大政党化の進展		
191	政友会入会の辞(大島久満次) 一九一四年(大正三)十二月二十二日……………	381
192	愛知政友会動搖 一九一四年(大正三)十二月二十五日……………	383
193	非政友大演説会 一九一五年(大正四)二月十一日……………	383
194	大隈伯後援会発会式 一九一五年(大正四)二月十八日……………	386
195	第十二回総選挙の逐鹿戦 一九一五年(大正四)三月五日……………	387
196	同志会支部発会式 一九一五年(大正四)三月十五日……………	389
197	本県政友会殆全滅 一九一五年(大正四)四月一日……………	390
198	三角同盟解体後の県会議員選挙 一九一五年(大正四)四月一日……………	391
199	新政党の組織と予の立場(小山松寿) 一九一六年(大正五)十月十一日……………	393
200	第十三回総選挙と名古屋市 一九一七年(大正六)二月一日……………	395
201	第十三回総選挙における滝正雄の立候補宣言 一九一七年(大正六)二月……………	396
202	憲政会愛知県支部発会式 一九一七年(大正六)三月二十三日……………	398
203	憲政会磯貝浩再起の裏面 一九一七年(大正六)四月一日……………	398

204	第十三回総選挙の執行	400
	一九一七年(大正六)四月二十一日	
205	名古屋市の憲政会の敗北	401
	一九一七年(大正六)四月二十三日	
	二 県会における非政友派の優位と内部対立	
206	県政倶楽部設立	403
	一九一五年(大正四)五月二十二日	
207	県会議員選挙と対選挙三派の態度	404
	一九一五年(大正四)九月九日	
208	県会議員選挙後の県政界の分野	405
	一九一五年(大正四)九月二十九日	
209	県下に於ける政友会の衰亡(m生)	406
	一九一五年(大正四)十月二十一日	
210	木曾川案と同志会	408
	一九一六年(大正五)一月十八日	
211	木曾川案通過	409
	一九一六年(大正五)二月二十六日	
212	議長改選事情と憲政会県支部	411
	一九一六年(大正五)十一月二十二日	
213	治水案の成行	411
	一九一六年(大正五)十二月十七日	
214	県政革新団の設立と憲政会	412
	一九一七年(大正六)十一月三十日	
215	革新団遂に独立	414
	一九一七年(大正六)十二月六日	
216	中学実業四校設置建議通過(太刀生)	415
	一九一七年(大正六)十二月十五日	
217	県会を顧みて	418
	一九一八年(大正七)十二月二十一日	

第三章 「大愛知」の成立と展開

第一節 第一次世界大戦戦後経営と工業化・都市化の進展

一 民力涵養運動と戦後経営

218	講和祝賀についての額田郡通牒	423
	一九一九年(大正八)六月二十八日	
219	講和条約の締結と名古屋市の祝賀風景	425
	一九一九年(大正八)七月	
220	額田郡の民力涵養事業の実施	428
	一九一九年(大正八)六月十五日	
221	額田郡区長懇談会協議事項	431
	一九一九年(大正八)七月七日	
222	愛知県の民政及民力涵養の五大綱(内務省監察官法学博士松井茂)	435
	一九二〇年(大正九)十一月	
223	八名郡各町村での民力涵養施設事業	444
	一九二〇年(大正九)十二月	
224	民力涵養活動写真及び講演会の開催予定	451
	一九二一年(大正十)十一月	
225	知事の県発展構想(愛知県知事 宮尾舜治)	452
	一九二〇年(大正九)一月	
226	民力の充実と国運の進展についての知事訓令	456
	一九二〇年(大正九)一月二十七日	
227	府県道認定についての県告示と県道一覽表	457
	一九二〇年(大正九)四月一日	
228	総合大学設置についての県会意見書	463
	一九二〇年(大正九)十二月十七日	

第二節 第一次世界大戦後における都市の発達

240	239	238	237	236	235	234	233	232	231	230	229
豊橋職業紹介所の開設 一九二二年大正十一)	市営住宅と其政策に就て(名古屋市技師特別会員 長崎敏音)	豊橋市水道布設工事認可稟請 一九二六年大正十五)七月十二日	結核予防法施行細則 一九二〇年大正九)八月六日	自転車取締規則 一九二〇年大正九)三月五日	トラホーム予防法施行細則 一九二〇年大正九)二月六日	二 都市環境の整備と社会政策 県の衛星都市計画 一九二六年大正十五)五月七日	岡崎都市計画区域決定理由書 一九二六年大正十五)三月二十三日	豊橋都市計画区域決定理由書 一九二四年大正十三)七月八日	大豊橋市建設の出発点に就て(豊橋市土木課長 長崎敏音) 一九二三年大正十二)七月	新に市となる一宮(外山福男) 一九二一年大正十)十月	都市計画と市民の諒解(名古屋市技師土木課長特別会員 長崎敏音) 一九一九年大正八)十二月
496	493	492	490	486	485	484	481	477	473	469	465

253	252	251	250	249	248	247	246	245	244	243	242	241
義捐金品募集の緊急広告 一九二三年大正十二)九月四日	東春日井郡守山町自治会幹部会の創立 一九二一年大正十)十月	知多郡大府町主会 一九二一年大正十)八月	町村自治会準則及び通達 一九二一年大正十)一月	行政刷新についての知事提出意見 一九二五年大正十四)七月	地方長官会議での協議事項についての知事訓示要領 一九二四年大正十三)三月十九日	町村長会総会での議決事項案 一九二三年大正十二)五月七日	丹羽郡町村長会々則 一九二二年大正十一)四月	地租並びに営業税を地方税に移譲する決議実行方法 一九二二年大正十一)四月	碧海郡六ツ美村の制限外課税許可稟請 一九二〇年大正九)三月二十九日	自治とデモクラシー(南設楽郡長 田中修) 一九二〇年大正九)一月	名古屋市労働紹介所の開設 一九二四年大正十三)十一月二日	岡崎市立職業紹介所の開設 一九二四年大正十三)六月十一日
520	517	516	514	511	507	504	504	503	501	499	498	497

第三節 第一次世界大戦後の町村行政と地域振興

一 第一次世界大戦後の町村行政

254	関東地方の震災についての名古屋市の緊急処置 一九二三年(大正十二)九月十日……………	521
255	関東大震災への愛知県を取り組み 一九二三年(大正十二)九月……………	523
256	県警察の大なる反省を望む 一九二三年(大正十二)九月二十六日……………	527
257	碧海郡旭村における震災救済活動 一九二三年(大正十二)十一月……………	530
258	二 農村振興と農民党の構想 農民党の樹立は時代の要求(我農生 山崎延吉) 一九二五年(大正十四)二月……………	533
259	異端者の手記 小農党のことなど(幡豆郡三和村 加藤愛村) 一九二五年(大正十四)六月……………	537
260	三 郡制・郡役所廃止問題 郡業務の県移管についての県会での質疑 一九二二年(大正十一)十二月十三日……………	543
261	郡制廃止後県に帰属する権利義務についての県告示 一九二三年(大正十二)三月十六日……………	548
262	郡制廃止後の郡の事業 一九二五年(大正十四)五月二十日……………	552
263	郡役所廃止に伴う廃合町村の調査 一九二六年(大正十五)七月八日……………	554
264	郡立学校の県移管についての県会意見書案と県会質疑 一九二二年(大正十一)十二月二十日……………	556

第四節 大國主義と思想的統合

272	一 国體論的価値意識の諸相 名古屋市内の皇太子帰朝奉祝行事 一九二一年(大正十)九月三日……………	558
273	県内の皇太子帰朝の奉祝行事 一九二一年(大正十)九月四日……………	561
274	皇太子成婚記念事業と名古屋市民会堂 一九二三年(大正十二)五月十五日……………	565
275	額田郡河合村における皇太子成婚記念事業 一九二四年(大正十三)一月……………	567
276	皇太子御成婚についての知事談話 一九二四年(大正十三)二月二十六日……………	569
277	御成婚記念英才教育積立金規程 一九二四年(大正十三)……………	571
278	国民精神作興詔書についての県諭告 一九二四年(大正十三)一月二十二日……………	572
279	国民精神作興についての実行方案 一九二四年(大正十三)……………	573
280	二 五大強国の基盤形成 岡崎市の儉約の努力週間 一九二〇年(大正九)五月十六日……………	579
281	消費節約当選標語 一九二二年(大正十一)十月十三日……………	579
282	生活改善断行についての丹羽郡通牒 一九二三年(大正十二)十二月十五日……………	581
283	勤儉奨励についての県諭告 一九二四年(大正十三)十一月十日……………	581
284	額田郡下山村の勤儉奨励 一九二四年(大正十三)十一月二十三日……………	583

278	「時の記念日」制定についての丹羽郡通牒 一九二〇年大正九(六)月三日	586
279	「時の記念日」挙行についての丹羽郡通達 一九二二年大正十(五)月二十五日	587
280	「時の記念日」についての丹羽郡内小学校の取扱通知 一九二二年大正十(六)月七日	587
281	丹羽郡小学校教員会の「時の記念日」宣伝歌 一九二二年大正十(六)月七日	588
282	丹羽郡桑田村の「時の記念日」状況報告 一九二二年大正十(六)月十一日	589
283	丹羽郡桑田村小学校の「時の記念日」宣伝ヒラ 一九二二年大正十(六)月十二日	591
284	メートル度量衡の実施について 一九二四年大正十(三)七月一日	592
285	メートル度量衡の実施報告についての額田郡通牒 一九二四年大正十(三)七月十六日	593
286	国勢調査事務についての葉栗郡町村長会議事項 一九二〇年大正九(五)月十七日	594
287	国勢調査の宣伝に就いて(愛知県臨時国勢調査部長愛知県 内務部長 小幡豊治) 一九二〇年大正九(六)月	599
288	国勢調査の心得 一九二〇年大正九(六)月	602
289	国勢調査実施に伴う神社例祭日変更についての額田郡通牒 一九二〇年大正九(七)月八日	603
290	国勢調査についての講演会開催の碧海郡上郷村通牒 一九二〇年大正九(九)月三日	605
291	国勢調査への協力についての名古屋市長諭告 一九二〇年大正九(九)月十三日	605

292	水面調査についての指示事項 一九二〇年大正九(九)月二十三日	606
293	国勢調査記念章伝達についての知事告辞 一九二二年大正十(一)八月	611
294	第五節 第一次大戦後から第二次護憲運動期の政党 一 第一次大戦後における政友会の優勢と内部対立 第十四回総選挙の形勢 一九二〇年大正九(四)月二十九日	613
295	政戦の跡(雲生) 一九二〇年大正九(五)月	615
296	非政友派の凋落 一九二〇年大正九(五)月十四日	617
297	暗闘遂に破裂して愛知政友分裂 一九二二年大正十(一)十月十四日	618
298	愛知政友の一革新 一九二二年大正十(一)十二月十日	620
299	日光川改修問題の是非 一九二二年大正十(一)十二月十二日	622
300	政友会愛知県支部陣容を一新す 一九二三年大正十(二)一月十六日	624
301	市部選挙界の一般方略と政憲両派 一九二三年大正十(二)九月二十日	627
302	期待を裏切った選挙界 一九二三年大正十(二)九月二十三日	628
303	県会議員選挙鳥瞰 一九二三年大正十(二)九月二十四日	631
304	県会議員選挙の戦いの跡 一九二三年大正十(二)九月	633

二 第二次護憲運動期の愛知政界

305	清浦内閣の出現に暫く隠忍自重	一九二四年(大正十三)一月十六日	634
306	政友会県支部の内閣不信任への態度	一九二四年(大正十三)一月二十日	636
307	県政友支部解散と政友本党への加入	一九二四年(大正十三)二月十日	637
308	政友本党の公開演説(榎本李太郎)	一九二四年(大正十三)四月二十六日	638
309	憲政会大演説会と護憲	一九二四年(大正十三)五月四日	641
310	活気みなぎる憲政派	一九二四年(大正十三)五月十二日	644
311	選挙の後	一九二四年(大正十三)五月十四日	645
312	加藤内閣出現の祝賀提灯行列	一九二四年(大正十三)六月十一日	647
313	三 政友本党の内部対立と県会		
	甲子倶楽部生る		
	一九二四年(大正十三)八月二十一日	648	
314	郡部政本の挑戦で大波瀾は免れぬ	一九二四年(大正十三)十一月二十三日	649
315	非本党連合軍による県政研究会の組織	一九二四年(大正十三)十一月二十三日	650
316	学校問題と行き詰まった県会	一九二四年(大正十三)十二月六日	651
317	愛知床次会の発会式	一九二六年(大正十五)十月四日	654

第六節 第一次大戦後の地域と軍事

318	一 渥美郡高師原演習場問題		
	渥美郡高師原演習場損害賠償問題解決要領	一九二四年(大正十三)八月十三日	657
319	渥美郡高師原演習場損害賠償問題の顛末	一九二六年(大正十五)一月十九日	659
320	二 第十五師団廃止問題と第十八連隊移転問題		
	豊橋市会の歩兵第十八連隊移転意見書	一九二五年(大正十四)四月十六日	662
321	渥美郡高師村民大会での歩兵第十八連隊誘致	一九二五年(大正十四)四月二十八日	663
322	渥美郡高師村での歩兵第十八連隊誘致実行委員選出	一九二五年(大正十四)四月二十九日	664
323	第十五師団の廃止の日	一九二五年(大正十四)五月一日	665
324	第七節 「昭和」への改元		
	天皇死去についての額田郡下山村通牒	一九二六年(昭和元)十二月二十五日	667
325	天皇追悼法会開催についての額田郡下山村通牒	一九二六年(昭和元)十二月二十五日	669
326	践祚並びに改元についての額田郡下山村移牒	一九二六年(昭和元)十二月二十六日	669
327	大喪の一般心得についての知事官房通知	一九二六年(昭和元)十二月二十六日	670
328	無料宿泊所の淋しき選擇	一九二六年(昭和元)十二月二十六日	671

329 遙拝式開催についての額田郡町村長会通牒
一九二六年(昭和元)十二月二十六日……………672

330 年賀郵便の特別取扱休止についての通知
一九二六年(昭和元)十二月二十七日……………673

331 遙拝式についての額田郡下山村通牒
一九二六年(昭和元)十二月二十九日……………673

332 大喪儀当日の県下各地の様子
一九二七年(昭和二)二月八日……………674

第四章 体制的危機下の愛知県

第一節 金融恐慌下の県政

一 経済的危機と県臨時財政調査会

333 地方税改正に伴う税制整理
一九二七年(昭和二)二月二十五日……………679

334 家屋税の施行に迫りて(愛知県庶務課 野田茂四郎)
一九二七年(昭和二)三月……………681

335 緊急勅令(モラトリアム)についての県諭告
一九二七年(昭和二)四月二十三日……………683

336 市郡連帯県費負担割合をめぐる県会での質疑
一九二七年(昭和二)十二月二十七日……………684

337 県の来年度予算は緊縮整理
一九二八年(昭和三)七月……………690

338 納税施設奨励についての県通牒
一九二九年(昭和四)一月四日……………692

339 社会政策を加味した予算編成方針
一九三〇年(昭和五)九月十三日……………693

340 愛知県臨時財政調査会生る(地方事務官 小浜元夫)
一九二八年(昭和三)五月……………694

341 第一回臨時財政調査会の開催
一九二八年(昭和三)七月……………696

二 緊縮財政下の市町村行政

342 町村電話施設についての県の方針
一九二七年(昭和二)三月二十六日……………698

343 郡役所廃止後の市町村長会議
一九二七年(昭和二)八月……………700

344 岡崎市下水道建設のための市債発行議案
一九二八年(昭和三)一月二十五日……………703

345 予算編成難の一宮市
一九三〇年(昭和五)一月……………705

346 市町村予算編成に就いて(愛知県地方課 小岩正一)
一九三〇年(昭和五)十一月……………706

三 合併問題と各地の市制・町制施行

347 東春日井郡坂下村の町制施行
一九二七年(昭和二) 一九二八年(昭和三)……………708

348 碧海郡大浜・棚尾両町合併問題
一九二八年(昭和三)四月二十日……………709

349 県下市町村における合併促進運動
一九二八年(昭和三)五月二十七日……………710

350 岡崎市の合併問題
一九二八年(昭和三)八月……………711

351 東春日井郡瀬戸町の市制施行
一九二九年(昭和四)九月……………713

四 名古屋博覧会と都市機能の拡大

363	地方政情調 一九二九年(昭和四)十月	727
362	第二節 昭和初期の愛知県の政情 一 昭和初期の愛知県の政情	
361	ハONSEN病絶滅のための期成同盟会の講演と映画 一九三一年(昭和六)六月二十五日	725
360	ハONSEN病療養所の入所手続 一九三一年(昭和六)	726
359	ハンセン病・精神病・結核救済の対策 一九二九年(昭和四)四月九日	723
358	ハンセン病絶滅のための期成同盟会発足 一九三一年(昭和六)三月十三日	724
357	ハンセン病絶滅のための期成同盟会初大会 一九三一年(昭和六)三月十六日	725
356	人口百万突破と名古屋市公会堂の建設 一九三〇年(昭和五)十月三日	722
355	五 ハンセン病への対応	
354	ハンセン病・精神病・結核救済の対策 一九二九年(昭和四)四月九日	723
353	ハンセン病絶滅のための期成同盟会発足 一九三一年(昭和六)三月十三日	724
352	ハンセン病絶滅のための期成同盟会初大会 一九三一年(昭和六)三月十六日	725
	ハンセン病療養所の入所手続 一九三一年(昭和六)	726
	ハンセン病絶滅のための期成同盟会の講演と映画 一九三一年(昭和六)六月二十五日	725
	ハンセン病・精神病・結核救済の対策 一九二九年(昭和四)四月九日	723
	人口百万突破と名古屋市公会堂の建設 一九三〇年(昭和五)十月三日	722
	下水道完備についての豊橋市会意見書 一九二九年(昭和四)十月二十五日	721
	御大典奉祝名古屋博覧会 特設館 一九二八年(昭和三)	717
	御大典奉祝名古屋博覧会 大礼館 一九二八年(昭和三)	716
	御大典奉祝名古屋博覧会案内図 一九二八年(昭和三)九月十五日	716
	御大典奉祝名古屋博覧会での名古屋市長式辞 一九二八年(昭和三)九月十五日	715

376	第十六回総選挙予想 一九二八年(昭和三)一月 二月	755
375	喜びに満ちた山崎常吉氏 一九二七年(昭和二)九月二十七日	754
374	加藤伯の遺産を守り強く正しく進んだ 一九二七年(昭和二)九月二十七日	753
373	素面素小手で打って出た無産候補 一九二七年(昭和二)九月十日	751
372	三、「普通選挙」の実施をめぐる 公約破棄の労働党名古屋支部 一九二八年(昭和三)二月三日	750
371	労働党支部声明書発表 一九二七年(昭和二)二月十六日	749
370	労働民衆党結党式 一九二七年(昭和二)二月十六日	746
369	政友会県支部大会 一九二七年(昭和二)十月	744
368	新生の民政党 一九二七年(昭和二)六月十六日	739
367	愛知政友の更生 一九二七年(昭和二)五月十八日	737
366	愛知県の憲政会同志はこそつて新党に参加す 一九二七年(昭和二)五月十六日	736
365	旧政友諸君に敬意を表す 一九二七年(昭和二)五月十四日	735
364	新党設立の動きと政友本党県支部 一九二七年(昭和二)五月二日	732
	二 二大政党と無産政党	
	新党設立の動きと政友本党県支部 一九二七年(昭和二)五月二日	732
	旧政友諸君に敬意を表す 一九二七年(昭和二)五月十四日	735
	愛知県の憲政会同志はこそつて新党に参加す 一九二七年(昭和二)五月十六日	736
	愛知政友の更生 一九二七年(昭和二)五月十八日	737
	新生の民政党 一九二七年(昭和二)六月十六日	739
	政友会県支部大会 一九二七年(昭和二)十月	744
	労働民衆党結党式 一九二七年(昭和二)二月十六日	746
	労働党支部声明書発表 一九二七年(昭和二)二月十六日	749
	公約破棄の労働党名古屋支部 一九二八年(昭和三)二月三日	750
	三、「普通選挙」の実施をめぐる	
	素面素小手で打って出た無産候補 一九二七年(昭和二)九月十日	751
	加藤伯の遺産を守り強く正しく進んだ 一九二七年(昭和二)九月二十七日	753
	喜びに満ちた山崎常吉氏 一九二七年(昭和二)九月二十七日	754
	第十六回総選挙予想 一九二八年(昭和三)一月 二月	755

377	普選激励演説会 一九二八年(昭和三)二月五日	766
378	普選最初の投票と棄権率 一九二八年(昭和三)二月二十一日	769
379	さんと輝けり普選壇 一九二八年(昭和三)六月二十四日	771
	四 民政党への批判と動揺	
380	民政党の刷新と憲政一新会 一九二八年(昭和三) 一九二九年(昭和四)	773
381	田中氏除名の真相 一九二八年(昭和三)九月二十日	777
382	緊縮内閣を糾弾する政友会県支部大演説会 一九二九年(昭和四)十一月	780
383	三河の民政青年団 一九三一年(昭和六)六月	781

第三節 思想問題への対応と教化総動員運動

384	大典を期して差別觀念の撤廃を求める知事諭告 一九二八年(昭和三)八月二十八日	783
385	先帝の行幸跡に記念標柱を建設 一九二八年(昭和三)九月二十一日	784
386	名古屋市の大典記念事業 一九二八年(昭和三)十月十八日	784
387	名古屋市の記念事業としての市庁舎新築 一九二八年(昭和三)十一月三日	786
388	大札奉祝のため花電車運転 一九二八年(昭和三)	787
389	名古屋市内の奉祝行事 一九二八年(昭和三)	788
390	渥美郡田原町の大典奉祝についての協定事項 一九二八年(昭和三)十一月一日	794
391	額田郡下山村の大札記念事業 一九二九年(昭和四)四月二日	795
392	大札に際しての地方饗饌についての県通達 一九二八年(昭和三)八月一日	799
393	町村助役への地方饗饌資格を求める渥美郡町村会の陳情書 一九二八年(昭和三)九月十四日	801
394	無産団体代表へ大典期間中の取締方針通告 一九二八年(昭和三)十月十五日	802
395	献上品及び天覧品関係者などの保菌検査について 一九二九年(昭和四)八月	803
396	天皇行幸に先立ち掃除及び汚物処理について 一九二九年(昭和四)八月	807
	二 思想問題への対応	
397	共産党事件についての県通牒 一九二八年(昭和三)四月二十一日	808
398	国民精神作興についての知事訓令 一九二八年(昭和三)五月五日	809
399	思想問題講習会の開催 一九二八年(昭和三)七月十三日	809
400	国民精神作興講習会の開催 一九二九年(昭和四)二月十二日	812
	三 教化総動員運動の展開	
401	愛知県婦人連盟教化節約同盟決議事項 一九二九年(昭和四)十月十二日	813

402	本県における教化動員運動の概況 一九三〇年(昭和五)九月	815
第四節 昭和恐慌の発生と恐慌への対応		
一 緊縮財政と公私経済緊縮運動		
403	公私経済緊縮運動についての活動写真筋骨懸賞募集要項 一九二九年(昭和四)九月四日	828
404	県会での知事の予算編成方針演説 一九二九年(昭和四)十一月二十五日	830
405	額田郡下山村公私経済緊縮並びに教化動員計画要綱 一九二九年(昭和四)十二月二十三日	834
406	公私経済緊縮並びに教化動員運動についての県通牒 一九三〇年(昭和五)一月十日	838
407	国産品愛用強調週間実施についての県通牒 一九三〇年(昭和五)二月十二日	839
408	公私経済緊縮愛知地方委員会の設置 一九三〇年(昭和五)三月	840
409	額田郡岩津町で公吏の減俸 一九三〇年(昭和五)九月二十八日	843
二 不況対策・失業対策の推進		
410	名古屋市無料診療規程 一九三〇年(昭和五)四月七日	844
411	公益質屋の生業資金貸付についての県通牒 一九三〇年(昭和五)四月二十五日	846
412	日雇労働者の失業に対する応急的施設についての県通牒 一九三〇年(昭和五)九月三十日	847
413	県最初の失業救済事業 一九三〇年(昭和五)九月	849

第五節 十五年戦争の前提		
一 昭和二年陸軍特別大演習		
414	陸軍特別大演習事務打合せ 一九二七年(昭和二)	850
415	陸軍特別大演習図 一九二七年(昭和二)十一月十五日	857
二 第三師団の山東出兵と防空大演習		
416	第三師団動員部隊出発の状況 一九二八年(昭和三)六月八日	858
417	山東派遣部隊帰還の状況 一九二九年(昭和四)六月七日	862
418	豊橋市における防空演習実施について 一九二九年(昭和四)七月十日	868
419	防空演習の概要と実施計画 一九二九年(昭和四)七月十五日	869
420	防空演習第一日の概要と統監部講評 一九二九年(昭和四)七月二十日	872
421	防空演習第二日の概要と統監部講評 一九二九年(昭和四)七月二十一日	873